

1 「本質的な問い」による単元構想について

- 本単元は、第6学年の総合的な学習の時間で扱う「トランペット鼓隊」の継承につながるものである。第一次では、伝統を守っていくために必要なことは何かについて考えていった。地域の伝統に目を向け、それに関わる人達との関わりを通して、伝統の継承とは単にその技や歴史を受け継ぐことではなく、その裏側には、伝統に関わるたくさんの人たちの存在や熱い思いがあることを知ることができた。これらの学習を通して、児童のトランペット鼓隊の継承に対する考えや思いに変容が見られた。大切にしていきたいことの視点が広がり、経験者にも聞いてみたいという思いをもつこともできた。第二次では、本校の伝統に目を向け、これまでトランペット鼓隊に関わってきた人々に話を聞いたり、過去の資料から調べたりする活動を通して、トランペット鼓隊がどのように受け継がれてきたかについて考えていった。第一次の学習と関連付けながら学習に取り組むことで、トランペット鼓隊を自分事として捉え、技だけでなく、これまで継承してきた人たちの思いも受け継ぎ、自分たちの力でよりよい継承を行いたいという思いを高めることができた。今後は、第三次のよりよい継承のために何ができるかを具体的に考えていく学習にスムーズにつながっていくと考える。

2 単元で育成を目指す資質・能力について

【知識・技能】

- 長年受け継がれてきている伝統は単なる技の継承ではなく、それに関わる人々の努力や強い思いや願いがあってこそ成り立っていることを理解することができた。
- 学習活動を展開する中で、課題解決力が高まったと実感する児童もいた。
- 「祭り」については、アンケート調査で情報収集を行ったが、直接人と関わった「音戸の舟唄」と比較すると、児童の印象の残り方や受け止め方に違いが見られた。改めて直接体験の大切さを感じた。可能な限り直接体験を取り入れた学習活動を展開する必要がある。

【児童の記述より】

- ・伝統とは、気持ちや思いを大切にしているものだったと思った。
- ・伝統は、自分達で守っていくものだったと思った。
- ・身の回りにある伝統について考えるようになった。（どういう思い、気持ちなのか。）
- ・目的について細かく考えているので、分からないことを調べたり、細かく一つずつ解決したりできるようになった。

【思考・判断・表現】

- 地域の伝統「神社の祭り」と「音戸の舟唄」を継承する人たちの話やインタビュー等で調べて分かったことを比較する活動を通して、「伝統の継承」に共通することを見だし、本校の伝統に関連付けることで、自分たちの伝統に対する自分の思いや考えをもつことができた。
- 「伝統とは何か」についてじっくりと考える時間を設定し、話し合いを重ねるにつれ、浅く狭くとらえていた「伝統」についての認識が広がっていった。狭い認識のまま学習を進めず、立ち止まって何度も問い返すことにより、その後の学習の深まりにつながっていった。

【児童の記述より】

- ・最初は、色々な伝統を受け継ぐことで大切なことは違うと思っていただけ、どれも大切なことは似ていた。
- ・今までぼくは、自分の考えにしか着目していなかったけど、ほかの人の意見にも着目するという考え方に変わった。

【主体的に学習に取り組む態度】

- 伝統に対する認識が変わり、伝統に興味をもてるようになったり、身近な伝統について考えたりする児童が増えた。
- これまで児童の多くは、トランペット鼓隊は6年生になると必然的に取り組むものだと捉えていたが、自分事として捉え、自分たちの力で協力して受け継ぐものであるという思いに変わっていった。また、よりよい継承のためには、トランペット鼓隊を上手に演奏することだけに力を注ぐのではなく、自分たちも協力し合いながら取り組むもうという思いや、自分たちにできることを考えていこうという意欲を高めることができた。

【児童の記述より】

- ・伝統的なものを見つけると、「あれ伝統だ」と思うようになった。
- ・伝統は、身の回りのどんなところにあるのかと考えるようになった。
- ・前までは伝統なんて興味がなかったけど、今では伝統はとっても大切なものなんだと興味をもっている。
- ・地域の歴史をつなげてきたいと思った。
- ・これまではトランペット鼓隊ってすごいものなんだなとか思ってたけど、トランペット鼓隊は先ばい達が努力してきたから今でも続いているものだから、わたしたちもそれをこえられるようなトランペット鼓隊にしたいと思った。
- ・トランペット鼓隊の伝統を守っていくために、みんなで協力したり、一つ一つ努力を重ねていくことを大切にしたい。

3 「デジタル機器」の活用

- グループで話し合っまとめた際に行ったワークシートを、テレビに提示することで、児童が聞き手を意識しながら自分たちの意見のアピールポイントを指し示しながら熱心にプレゼンを行うことができた。
- 情報を検索することに差があった。指導を積み重ねていく必要がある。

